
Le Songs d'une unit d'été
夏の夜の夢





目次


ううん…ムニャムニャ
せっかく遊びにきてあげたのにおネムぅ？
スゥ…
つまんなぁい
フフ…真紅の媒体さん
いまごろどんなヤバい夢を見てるのかしらぁ？いっその事…夢ごと壊してあげ……
オオオオオオオオ
キミは…本当は寂しいんだ！
ハッ！
キミは壊れない！
この夢は…
あの時の…
彼が…あの時の…
ゴゴゴゴ



ハア…
水銀…いや…翠星石!?
あっ…ダメだぁっ!
そこはダメだぁ!
おっ…おまえ一体何やってんだ!
翠星石だってチビには用はないですよ
でも私の体の自由が効かなくて体が勝手に…
なに!?どういう事だ!?もしかして誰かに操られて…
さっき水銀燈がやってきて…
何かいかがわしい事やってたですし
なにあいつが!?
ぐっ
うあっ
そっ…そうかもしれないですぅ


くぅ…
何考えてんだ
あいつは！
あっ…で…でも
キ…キモチイイ…
はうっ
いっ…
いかんッ
でっ…出るぅ
ジュンの先っぽが
ピクピク
してるですぅ
うあっ！


ビュク
ビュクッ
な…何か…いっぱい出てるですぅ
うぅっ
コポッ
はぐっ
はぁ…
はぁ…
白い液体がこんなにいっぱい…
ドロォ
ゴクッ
お父様と同じですぅ…
うぅ…キモチわるいもん飲ませるなですぅ
なっ!?


な…なにイ やらしい目で 見てるですかぁ
何考えているんだ コイツは…よし こうなったら…
アッ
ムニュ
なっ…何する ですかぁ！
攻めるが 勝ちだ！
はぁっ
アッ！ ダメェ！ ダメ…ですぅ
ヤ…柔らかくて キモチいい…
ムニ
ムニ
ムニ
ムニ
ムニ


ちゅ
ああぁっ
キュポ、
あぁっ
ハァ…ハァ…
うまい
こんなっ…
恥ずかしいっ
!?
これは、演技じゃない？
もしかして本当に水銀燈に操られているんじゃ…
ん…
あぁっ
もしかして今がチャンス？
はぁ…
はぁ…
チビ人間…
いい加減するですぅ


翠星石…下を見てもいいか？
えっ？
アッ…
グッ…ダメェ！
だれがお前なんかに見せるかですぅ
えっ？
な…何もはいてなかったとは…
恥ずかしいですぅ…
あっ！
ビクン



いっ…いやぁぁぁぁ
はぁぁぁん
ハァ
抵抗しないな
ハァ
指一本で精一杯だ
レロレロ
よし…今のウチに…
でも入るのか?これ
ハァ
ハウッ…
ハァ
グッ


グッ
アアッ!!!
メリメリ
ハァッ
は…入ったぁ!
ズヴゥッ
ハァッ
ハァッ
アアアッ
ハァッ


ハァ
ダメェ！
奥に当たってるぅ
ハァッ
ハァッ
ハァッ
ああ…汁が
溢れ出てくる…
コポッ
あっ
あああっ！
翠星石と一つに…
ああ…
あっ
ああっ
アアッ


ア
アアッ
らめぇ
あぁっ…
琴…
かわいいよ
琴…
らめぇ！
壊れちゃう！
んんっ
うぅ
レロッ


アアッ
ビク
らめぇ
イッちゃう
イッ
イクゥゥゥゥ
うに～…
パカ
うるさいわねぇ…
静かにして頂戴



あ
ッ
…ひっ
し…真紅がぁ…見ないでぇ…
クッ…イクぅ
ぼ…僕もイクよ…奥で…
あぁっ…
はわあ♪
はぁあああぁん


ビュッ
ビュル
ああああん
ビクッ
ビクッ
ふあああぁっ…
奥でいっぱい
出てるぅ
ああっ
で？


そうなんですぅ
水銀燈の野郎に
操られて…
証拠の羽根も
あるですぅ
そう…
災難だったわね
だから翠星石たちは
悪くないですぅ
全部水銀燈のしわざですぅー
なんか
居たのー
って!
これは
静かに後ろから
殴られた
アトなのだわ
じけん
なのー
つまり…水銀燈は
最初から今回の件に
関与して
いなかった…
つまり貴女達をあやつる
事さえも不可能…
貴女達は自主的に
性行為をした事に
なるわね
…
私にも教えて
欲しいのだわ…
どんな風に
どんな事を
したのかを…
これは夢だっ!
たのむ!
夢オチだと
言ってくれ!
ガク
ガク
ブル
ブル
Fin.


ど…
どうしたんだろう…
僕
ビクン
ハァ
ハァ
くちゅ
ぬちゅ
夏の夜の夢
第二幕
Le Songe d'une nuit d'été
何かよく
分からないけど…
ビクン
何かの記憶が
断片的に
入ってくる…
なんでこんな事を…
しているんだろう
ヌチュ


ペロ
ペロ
ダメ…
ダメだよ！そっ…
そこはッ
ビク
ビク
レロ
レロ
あっ！
うあっ
うあぁーっ
ちゅぷ
ぬりゅ


ダメッ
グイッ
そこだけは…ダメだよ!
痛ッ!
ふぁぁぁっ!
なっ…なんで僕が…
こんな事に…
うぁぁぁッ!!
メリ
メリッ



お父様…？
そうか…これは 翠星石の記憶…
この時間で 彼女の記憶が 流れ込んで…
だからこんなに キモチイイんだ！
アッ
ああっ
だっ… だんだん早くなって…
ビクン
ダメッ イクッ イッちゃう よぉ！


あはぁぁぁぁぁぁぁッ
はぁッ…
はぁ…
はぁ…
夢…
これは…夢…？
気分が悪いわ！
もう連続で同じ夢を見るなんて
あ
う
つづく


2006